

平成27年度  
(第4四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売り上げ面では、118億9,200万円となり前年同期比99.2%、計画比96.4%の実績でした。これは販売構成比の大きい、グループ会社日本薬剤への売上が伸びたものの、受託元長期収載品の減少に伴うCMO事業の販売減によるものです。収益面では、経常利益は-9億7,000万円の前年同期比-6億2,300万円、計画比-7億9,500万円でした。これは、顆粒剤ラインの減価償却がスタートしたものの、販売が本格化するのが平成29年度からになるためです。

(事業運営面)

顆粒剤ラインの立ち上げは順調に進んでおり、徐々に製品販売量が増加し、平成30年度のピークに向け引き続き作業を推し進めて参ります。

#### ○ 課題への取組み

工場稼働率を高めるため、現在外部委託している製品の内製化を検討し、推進しております。

#### ○ トピックス、適時情報

- 1.「広貫堂の青汁(リンゴ・マンゴーバナナ・ブラック)」「広貫堂グラノーラ」「フェイスマスク」を広貫堂直営店、通信販売にて発売開始しました。
- 2.「ワントップEXジェル」を配置流通にて発売開始しました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体)(第4四半期、平成27年4月～平成28年3月) (千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	11,178,032	11,519,814	11,976,668	11,892,517
経常利益	213	17,848	-346,387	-970,206

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、149億8,700万円と前年同期比100.6%となりました。

これは販売構成比の大きい日本薬剤への売上が新たなドリンク剤獲得などにより伸びたものの、受託元長期収載品の減少に伴うCMO事業の販売減が大きく響いたためです。収益面では、経常利益は-9億8,200万円と前期より6億2,000万円の減少となりました。これは顆粒剤ラインの減価償却が本格的にスタートしたためです。すべての顆粒剤受託製品を計画通りに販売開始できるよう、事業を推し進めて参ります。

#### ○ 業績の概況(広貫堂グループ・連結)(第4四半期、平成27年4月～平成28年3月) (千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	13,961,731	14,379,106	14,893,416	14,987,496
経常利益	-311,474	242,749	-362,065	-982,832

平成27年度  
(第4四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 薬都広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

新製品・リニューアル製品として6品目を導入しましたが、売上高は28億5,900万円、前年同期比96.5%となりました。経常利益は2,100万となり、減収増益で27年度を終えました。

(事業運営面)

次年度も引き続き厳しい事業環境が予想されますが、配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進します。また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績回復につなげてまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

平成27年度に新発売およびリニューアル発売した製品は下記のとおりです。

1. 第2類医薬品：1品目
2. 健康補助食品：4品目
3. 化粧品：1品目

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成27年4月～平成28年3月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	3,610,771	3,379,067	2,962,086	2,859,199
経常利益	7,900	175,863	-24,893	21,865

### 日本薬剤 株式会社

#### ○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクの販売増や清涼飲料水など新製品の販売が寄与し54億6,400円となりました。経常利益は3,900万円となりました。

(事業運営面)

昨年のような夏場の天候不順も無く、冬場の暖冬傾向もあり100mLドリンクなどの売上は順調に推移しました。

#### ○ トピックス、適時情報

新発売(4～3月)

医薬部外品 100mLドリンク 3アイテム

医薬品 葛根湯内服液45mLタイプ 2アイテム、葛根湯内服液30mLタイプ 1アイテム

解熱鎮痛薬 3アイテム、乗り物酔い止め 1アイテム

食品 500mL清涼飲料水 1アイテム

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成27年4月～平成28年3月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	4,460,165	4,880,008	4,885,416	5,464,078
経常利益	52,958	63,553	16,798	39,250

平成27年度  
(第4四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 広貫堂薬品販売 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第4四半期(4月～3月)では売上高前年同期17億2,100万円に対して16億1,100万円、前年同期比93.5%となりました。利益面では前年同期-1億8,300万円に対し-1億3,000万円にて推移しました。第3四半期より取り組んでいる地代/旅費/発送費の低減効果などにより昨年度より経常利益は改善しました。

(事業運営面)

平成28年度の営業所個別損益の実施を見据え、より競争力のある評価基準/賃金体系を構築し、全社で共有しました。また顧客数減による売上減をカバーするために、社員による新規顧客開拓を奨励するとともに、京都に約100件の懸け場購入を行いました。

#### ○ トピックス、適時情報

第4四半期より、現在マスコミで話題のサプリメント「水素」サブリの拡売を開始しました。第3四半期に複数営業所でテスト販売を行った結果、お客様の評判が良かったため全社での取り扱いとなりました。過去の商品群のカテゴリにない商材であり、また当社基軸である和漢薬との相性がいいため今後の売上の柱になることが期待されます。

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成27年4月～平成28年3月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	2,005,396	1,958,243	1,721,701	1,611,346
経常利益	-185,092	-96,813	-183,930	-130,081

### トキワ広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比102.8%予算計画比94.6%となりました。経費面につきましては、販売費及び一般管理費等のコスト削減に努めて前年同期比84.7%となりました。経常利益は、-382万に対して-464万となりました。

(事業運営面)

平成28年2月よりドリンクの置き込みを開始し、3月より「グルコサミンゼリー」の取り扱いを行い、痛み系顧客に対してのアプローチを行いました。

#### ○ トピックス、適時情報

- 平成28年1月20日 9:30よりトキワ廣貫堂株式会社第5回取締役会が開催されました。
- 平成28年3月24日 10:00よりトキワ広貫堂株式会社第6回取締役会が開催されました。

#### ○ 業績の概況 (第4四半期、平成27年4月～平成28年3月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	220,667	212,905	211,764	217,622
経常利益	-37,319	-28,877	-28,991	-4,643